

# 持続可能な開発目標達成のための科学技術イノベーション (STI for SDGs)に関する基本方針【概要】

平成30年4月  
平成30年8月改訂  
文部科学省

## SDGsをとりまく国内外の動向

### ～国際的な動向～

- ・国連「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の採択（2015年9月）
- = 2030年を期限とする**持続可能な開発目標（SDGs）を設定**
- ・国連STIフォーラムの開催等

### ～政府の取組～

- ・「**SDGs推進本部**」（2016年5月）を設置し、「**SDGs実施指針**」（同年12月）、「**SDGsアクションプラン2018**」（2017年12月）、「**拡大版SDGsアクションプラン**」（2018年6月）を策定
- ※ 科学技術イノベーション（STI）は、多様な分野において課題の解決に不可欠な横断的要素。Society5.0等と連動した取組の推進が重要
- ・**CSTIにおいて、「統合イノベーション戦略」（2018年6月）を策定、SDGsの推進体制を整備し、ロードマップ等を検討**

### ～政府外の取組～

- ・**経団連（SDGsの達成を柱とした「企業行動憲章」の改定）**
- ・研究開発法人や大学等（JSTにおけるSDGs達成に係る取組等）

## 文部科学省の役割・取組方針

- ・多様な研究機関等を所管し、主要な科学技術施策を実施していることから、**政府全体の取組に積極的に参画し、主体的に貢献。**
- ・既に各種施策を通じてSDGs課題の解決に寄与してきた**実績等も踏まえつつ、さらに施策を充実。**
- ・STI for SDGsの取組が、**STIのあり方自身に変革を迫る契機**であることを踏まえ、**創造的・革新的技術シーズの創出とバックキャスト・デザイン思考の効果的な組み合わせ、多様な専門家が分野等を越えて結集して新たなアイデアの創出を促進する仕組み、各セクターを越境し繋ぐ人材の育成等**が必要であるという視点を持って具体的取組を推進。

## STI for SDGs推進に向けた文部科学省の取組

※STI for SDGs : Science, Technology and Innovation for Sustainable Development Goals

### (1) 「STI for SDGs 文部科学省施策パッケージ」の策定

- ・STI施策を通じた**SDGs達成への文部科学省の貢献の在り方を整理**し、その実現のために必要となる**施策を体系化**。  
(国内取組、国際展開のそれぞれの施策について、概要や期待される成果、今後の展開等を**時間軸も意識しながら検討**。)
- ・上記取組方針に加え、**STI for SDGsの推進を担う人材育成、人文・社会科学と自然科学との連携、地方創生への寄与の重要性も**念頭に検討。

### (2) 施策パッケージに基づくSTI for SDGsの推進

- ・**概算要求への適切な反映等**により、STI for SDGs施策を戦略的かつ着実に推進。
- ・**異なる施策の有機的連動や教育・文化・スポーツ等の分野との連携**により、多様なSDGsの課題解決に寄与。
- ・STI for SDGsに関する知見や実績を有する**JSTと連携**するとともに、**産業界・大学・研究機関・NPO・国際機関等が参画する各種のオープンプラットフォーム等**を通じて議論を行うなど、**多様なステークホルダーとの連携による共創を推進**。

### (3) 広報・啓発活動の推進

- ・**SDGsに係る広報・啓発や国際発信へ貢献**。教育関係施策との連携により、STI for SDGsについての**学習機会を充実**。

### (4) 推進体制

- ・**省内における推進体制を整備**し、STI for SDGs施策の体系的・戦略的な実施やフォローアップを推進。